

学習用具のきまり

3・4・5・6年生

- ◆ 学校は、勉強をするところです。
- ◆ 授業で困らないように、学習用具をきちんとそろえましょう。
- ◆ 学習に必要なものだけを持ってきましょう。
- ◆ 筆箱の中は、下に書いてあるもの以外、入れないようにしましょう。
- ◆ 持ち物には、必ず名前を書きましょう。

筆箱の中

★ そろったら、○をつけましょう。

<p>けずった鉛筆 (B以上) 4～6本</p>	<p>こい字は、パッと書き出せば頭の中に、入りやすいんだよ。</p>
<p>けずった赤鉛筆 1本</p> <p>(6年生は、赤一色のボールペンでもよい。ただし、かざりのないもの)</p>	<p>こい鉛筆は、しんがやわらかく、たくさん字を書いてもつかれにくいよ</p>
<p>定規 (筆箱に入る長さ)</p> <p>・めもりがはっきりと見えやすいものを使う。</p>	<p>計算する時に きちんと定規を使って書くと、計算ミスもへるよ</p>
<p>よく消える白い消しゴム</p> <p>(色・におい・かざりのないもの)</p>	<p>らくに消えると、またすぐに字が書けるね</p>
<p>ネームペン (油性) 1本</p>	

シャープペンシルは、使いません。学校には持ってきません。シャープペンシルのしんは、細いので文字がうすく読みにくいからです。小学校での学習には、てきしていません。

☆授業に集中しやすくするためには、できるだけシンプルな学習用具を選ぶことが重要です。

子どもたちは、キラキラしたり、ゆらゆらしたり、においがついていたりと変わったものを持ちたがりますが、

学習のさまたげになるものを取り除いてやることで、しっかり話が聞けるようになります。

◆筆箱・・・シンプルで、中のものがそろっているか、分かりやすく、取り出しやすいものにしましょう。(缶のペンケースはあまりおすすめできません)



立てるペンケースは、倒れたり突きささったり危ないのでおすすめできません。

おりたためる定規は、こわれやすい、音がでる、手遊びをしてしまうなどの理由で、あまりおすすめできません。

☆必要な物が、わかりやすく、取り出しやすいように整理しましょう。それ以外の物は、先生の指示のあった時だけ、入れるようにしましょう。

◆お道具箱



三角定規や分度器、コンパスは、使用する時期に購入等について学級でお知らせいたします。

コンパスは、先がとがっていて危ないので、学習で使うとき以外は出さないようにしましょう。

3年生 (はさみ・のり・色えんぴつ・三角定規・コンパス)

4～6年生 (はさみ・のり・色えんぴつ・三角定規・コンパス・分度器)